

この度、広島市立広島商業高等学校の生徒さんと縁があり、学校のマーケティング授業の一環である、“子ども食堂に寿司送ろうプロジェクト”の話を知り参加する機会がありました。

学校の課題授業でフードロス問題に関して企業に取材をおこなった所、フードロスは企業努力により確実に削減されていることが分かったが、削減が進むにつれて別の問題が発生してきている事実に着目。一部の子ども食堂やフードバンクへの食糧提供量が不足し、営業が困難になるという問題が出ている。

そこで、子ども食堂にお寿司を届ける事が出来れば子供たちは喜ばずというアイデアを思い付いて学校と縁のある企業に相談したが、消費期限の短いものは衛生面や配送などの問題で断念したそうです。

しかし、取材した中の一つで、「生協ひろしま」さんは月に1回食料や日用品を子ども食堂へ寄付をしているという事で直接配送が可能であり、巻きずしを子ども食堂へ提供する話もあると聞き、生徒さん達は“子ども食堂に寿司送ろうプロジェクト”を立ち上げて実行に移しました。

最大の特徴は、寄付を待つのではなく自分たちで経済を回すという点だそうです。

1つの子ども食堂に必要な予算を算出し、この資金を捻出する為に考えたのが販売実習の場で学校と提携している企業の商品をプロジェクトへの寄付金込価格で販売を行うというもの。

たとえば通常400円のところ500円から550円の2段階で設定し、お客様がこの活動に対して協力の度合いを選べるようにして購入して頂く。

この販売実習の利益で1つの子ども食堂に必要な資金はほぼまかなう事が出来たそうです。

そんな折に当社が偶然この話を聞きとてもいい取り組みなので続けて欲しいと思い、他の子ども食堂にも届けられるように少しではありますが寄付と企画に参加させて頂く事になりました。

2月3日節分の日に第一弾として安佐南区古市で活動されている“こどもとみんなの食堂てらこや”さんにお伺いして恵方巻を提供するお手伝いをしてきました。

恵方巻を子供たちに配る程度しかお手伝い出来ませんでした。子供たちがおいしそうに食べている姿を見るのはとても励みになりました。

